

2026(令和8)年度 入学試験問題
編入学(学士入学を含む)試験

外国語学部 国際関係学科

小論文

【注意】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 試験時間は 10 時 00 分から 11 時 30 分まで(90 分間)です。
3. この問題冊子は表紙以外に 5 ページあり、解答用紙は 2 枚あり、
下書き用紙が1枚あります。
4. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等
に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
5. 解答はすべて解答用紙に改行せずに記入してください。
6. 受験者本人の特定につながるような氏名、住所、学校名等は記述しないでください。
7. 解答用紙を持ち出してはいけません。持ち出した場合、試験をすべて無効とします。
8. 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰ってください。

次の資料を読んで、以下の問いに答えなさい。

【資料1】

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

(住吉雅美『ルールはそもそもなんのためにあるのか』による。ただし、出題に際して原文の一部を改めた。)

【資料2】

トランプ政権が、自由貿易を基盤とする現行の国際法秩序の変更を目指していることは明らかだろう。

この政権は、一貫して、全ての国に同一の条件を適用する「最恵国待遇原則」に基づく、無差別で多角的な自由貿易秩序を否定してきた。そして、二国間かぎりのディールによって国ごとに都合よく扱いに差を設け、自国産業に最大限の保護と利得をもたらす国際関係を新たに築くことを試みている。目下の懸案である「相互関税」も、この法変更の試みの一部といえる。

私たちはこれにどう対応すべきか。

対抗的な関税で争えば、勝者なき貿易戦争が勃発する。自国だけの「除外」を期待して宥^{ゆうわ}的な譲歩を申し出ても、相手はいつそう要求をつり上げていくだけだろう。いずれも、自由貿易秩序の破壊を加速してしまう。これまでのグローバルな経済の自由化は、たしかに産業の空洞化や雇用の不安定化など、様々な弊害を伴ってきたが、だからといって、秩序そのものを破壊するのは極めて危険だ。

自由貿易への信頼が失われれば、希少資源や市場の確保に不安を抱く各国は、経済安全保障のためにアウタルキー（自足的経済圏）の確立を目指すだろう。それが勢力圏や領土の要求につながるなら、1930年代のような危機が生じる。

トランプ大統領を熱狂的に支持する人々は、グローバル化によって辛酸をなめさせられてきたと感じており、自由貿易がすべての人にとって富をもたらすというような利益調和論にはうんざりしている。

超大国が決意をもって法秩序の変更を企てるこの状況で、国際法が果たしうる役割は何か。

そもそも法の重要な役割の一つは、人が自らの不満を論理的に表現し、理性的な議論に参加できるようにすることだ。したがって、ここでも、トランプ政権を介して乱暴に表明される米国民の不満を受け止めつつ、それを「筋の通った」議論として再構成してゆくことが、国際法の重要な任務となる。

例えば、輸入の急増によって自国の基幹産業に生じた重大な損害を和らげるために、一時的に関税を引き上げるという要請は、現行の秩序でも正当と認められる。しかし、どの国からの輸入品であっても国内産業に引きおこす損害に変わりはないのだから、これは国ごとに分け隔てしない措置でなければならない。

また、「相互関税」と呼ばれる措置は、不正な貿易障壁を置く特定の国家への一方的な「制裁」の一種として位置づけられる。その合法性は疑わしいが、貿易摩擦に際して米国が多用し、事実上、ある程度は容認されてきたやり方だ。これに対して、各国は、自国のいかなる関税や商慣行が、なぜ不正とみなされるのかを明確にするように求めなければならない。

さらに根本的な課題は、グローバル化で深刻な被害を受けている人々の不満が呼び起こす、自由貿易体制への激しい敵意を緩和することだ。これには、雇用の確保や安定などの要請を国際法上の議論に組み込むことで、その不満に法的な表現を与え、秩序の改善を志向する議論へと導くしかない。

まわりくどいようだが、交渉を通じて、相手の主張を一つ一つ理性的な議論に铸なおすという法的な作業だけが、「法の支配に基づく国際秩序」の実現に世界を近づける。

(西平等「米の不満を「議論」に 法の役割」『朝日新聞』(2025年5月5日)による。ただし、出題に際して原文の一部を改めた。)

(※1) ノブレス・オブリージュ：高い身分や地位には義務が伴う。身分の高い者は当然、勇気・仁慈・高潔・寛大などの徳を備えねばならないという考え方。

(※2) 津波てんでんこ：「津波がきたら、各自がそれぞればらばらに逃げないといけない」という東北地方に伝わる言葉。

問1 資料1について、著者の主張を、改行せずに400字以上500字以内の日本語で要約しなさい。(40点)

問2 資料2下線部について、資料1が示した複数のルールの在り方のうち、どのルールに基づいてトランプ政権の関税引き上げに対応すべきであろうか。あなたの見解を、改行せずに500字以上600字以内の日本語で述べなさい。(60点)